



2022年11月7日

株式会社 阿波銀行

のうき屋米米の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、のうき屋米米（西條 美恵子、本社：徳島県阿南市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	のうき屋米米
所在地	徳島県阿南市下大野町渡り上り 544
代表者	西條 美恵子
業種	飲食業

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年11月7日



## のうき屋 米米 西條 美恵子

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境・経済	環境への配慮	店内で使用するストロー・サランラップ・ビニール袋・弁当箱などのプラスチック製品の削減を目指し、努めます。	① (1)NOプラスチック運動の積極的な推進 (2)環境配慮型製品(FSC認証)の提供により削減	
			② (1)プラスチックストロー使用率0%継続 サランラップ・ビニール袋2025年までに使用率50%削減 (2)弁当箱を2025年までにFSC認証のペーパークラフトボックス使用率50%	
環境・社会・経済	地産地消の推進	地域の海で獲れたものや、地域で育てたものをその地域で消費し、安定した食料供給の体制を構築します。	① (1)地元産の食材を使ったオリジナルメニューを提供 (2)地元産米の提供	
			② (1)薬膳メニューを提供(年2回) (2)徳島県阿南産コシヒカリ提供(100%継続)	
社会・経済	地域教育への貢献	小中学生を対象に、職業体験学習を受け入れ地域の教育に積極的に貢献します。	① 職場体験学習の受け入れ体制	
			② 職場体験と学習の場を提供(年2回) (小学生)インタビュー・接客体験 (中学生)料理体験	
社会	環境情報開示	自社の環境への取組みや限定メニューなどを、インスタグラムやTwitterなどのSNSを通じて情報発信します。	① 会社ホームページやSNS(インスタグラム、Twitterなど)で、社外へ情報発信	
			② SNSによる積極的な情報発信 (1)新メニュー提供時投稿 (2)随時イベント投稿 (3)月1回定休日投稿 (4)ストーリー紹介	

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。